

「腫瘍細胞生物学セミナー」を開催

2019年11月22日

11月22日（金）、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、北海道大学大学院 先端生命科学研究院 助教 石原誠一郎 先生をお招きして、腫瘍細胞生物学セミナーを開催しました。

セミナーでは、「足場の硬さに応答した細胞たちが織り成すがん悪性化メカニズム Mechanism of cancer progression triggered by tissue stiffness」という演題で、がん組織の硬さがNF- κ BやATF5などの転写因子の活性化を介してがんの悪性化を促す機構について講演して頂きました。また硬さによるがん関連線維芽細胞の創出や圧縮ストレスとがんの進展について最新の研究知見をご紹介頂き、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等33名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。

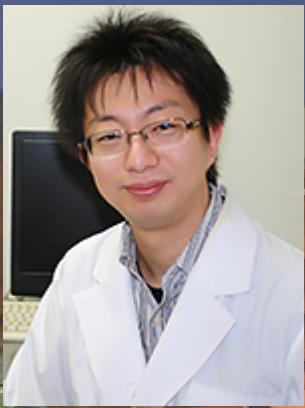


第2回腫瘍細胞生物学セミナー

足場の硬さに応答した細胞たちが織り成す がん悪性化メカニズム

Mechanism of cancer progression triggered by tissue stiffness

本セミナーは英語で開催されます - This seminar will be in English.



2019年11月22日（金） 17:00 - 18:00

金沢大学がん進展制御研究所 4階 大会議室

北海道大学大学院先端生命科学研究院

助教 石原 誠一郎 先生

「癌」という漢字は病気を意味する「やまいだれ（�）」に岩を意味する「岳」を組み合わせたものである。その名の通り、固形がん組織の多くは正常な組織に比べて岩のように硬いことが多い。我々はこれまでに細胞が接着する足場の硬さががんという病気を増悪させることを報告してきた。硬い足場に接着したがん細胞は NF-κB や YAP などの転写因子を活性化させ、それにより悪性化することを発見した。さらに間葉系幹細胞は硬い足場上でがん関連纖維芽細胞に分化し、乳がんの進行に寄与することを見出した。本セミナーでは演者の最新の研究知見（膵臓がんや圧縮ストレスなど）についても併せて議論する。

【参考文献】

- Ishihara et al., Cancer Research, 77, 6179-6189 (2017).
- Ishihara et al., Cytotechnology, 68, 25-32 (2016).
- Nukuda et al., Oncogenesis, 4, e165 (2015).
- Masuda et al., BioTechniques, 56, 172-179 (2014).
- Ishihara et al., Experimental Cell Research, 319, 2916-2927 (2013).

連絡先：金沢大学がん進展制御研究所 肿瘍細胞生物学研究分野

平田 英周 ehirata@staff.kanazawa-u.ac.jp (内線 6710)